

# 100年住み続けられるまちを



イルミネーションでデコレーションケーキのように飾られた明倫小学校の旧校舎

ミツバチプロジェクトでは地区内の人に協力を求め、庭先に巣箱を置いてもらった。野生のニホンミツバチを集め、採れた蜂蜜を集めてリキュールに醸造する。蜂蜜が地域に生業（なりわい）を生み出し、経済循環をつくる第一歩になった。

NPOが立ち上がるきっかけは今も残る明倫小学校の旧円形校舎保存問題だった。1955年に建てられたこの校舎は現存する円形校舎としては日本最古だが、明倫小が1976年に移

転した後は貸し館などとして利用されていたものの老朽化が進み、市は解体の方針を表明したのだ。

現在NPO理事長を務める川部洋さんが保存に向けて奔走し、2009年には円形校舎をクリスマスケーキに見立ててイルミネーションを飾るなどのイベントを開いた。耐震改修診断の結果、取り壊しが決まったが、川部さんは「今も（存続を）あきらめてはいない。リキュールの製造拠点として活用

2013年12月、国の特区指定を受けて醸造された蜂蜜100%のリキュール「メイリン」が完成した。倉吉市の明倫地区で進められる「明倫ミツバチプロジェクト」で造られた酒で、完成披露会には大勢の地域住民が集まり、会場に笑顔が広がった。

打吹山のふもとに広がる倉吉市街地西側に位置する明倫地区。かつて倉吉特産の稲扱千歯（いねこきせんば）の産地として栄えていたが、近年は少子高齢化が深刻な問題になっている。そんな地区を「100年先まで暮らし続けられる地域に」と2010年8月に設立されたのが明倫NEXT100だ。



完成した蜂蜜100%の酒「メイリン」

ミツバチプロジェクトでの蜂蜜採取の様子



したい」と夢を膨らませる。

また、「地域をアートのまちに」という「明倫〇（まる）ごとミュージアム」の取り組みや、子どもたちに落ち葉を拾ってもらって「きつねの小判」と交換し、地域のイベントなどで使ってもらう活動なども続けている。

「少しずつだが、地域の人にも取り組みを認識してもらってきた。今後は公民館などと連携しながら活動し、住民で意識を共有したい」と、川部さんは夢を語る。

## NPO法人「明倫NEXT100」の事例

### 代表者のコメント

理事長 川部洋さん



円形校舎の活動から始まり、ミツバチプロジェクト、アートプロジェクトなどを柱に、地域をデザインする活動を繰り返し広げてきた。これらに加え、かつての「職人のまち」を受け継ぐものづくりの活動をもう一つの柱にしたいと考えている。今後は倉吉市などの協力を得ながら一緒に地域をデザインしていきたい。鳥取県にも相談などの面でサポートしてほしい。

## NPO法人 明倫NEXT100

- 〈概要〉 ●所在地:倉吉市越中町1583-1  
●代表者:川部洋  
●構成員:理事7人を含む会員計30人  
TEL 0858-24-5137  
ホームページ <http://meirin.info/>



「メイリン」醸造のためにNPOを母体に設立された「明倫まちづくり合同会社」の看板を掲げる事務所